



令和 4 年度

# ちょっといい話

清流の国ぎふ

日々の生活の中で、ほんの少し相手のことを思っていてかけた「言葉」「行動」に、まわりの空気が温かくなったという経験はありませんか。また、あなたがつらかったとき、苦しかったときにかけられた「言葉」「行動」が励ましになった経験はありませんか。

「このちひな身のまわりで経験した心温まる出来事を」ちひなという話「として、令和4年の月かひの月上旬にかけて募集したところ、小学校49校、中学校30校、高等学校3校の他、一般の方からの応募も含め2,762作品を寄せていただきました。その中で、

- ・正直、誠実、責任、勇氣
- ・友情、信頼、献身
- ・克己、忍耐、努力
- ・思いやり、絆
- ・尊敬、感謝
- ・家族愛
- ・命の尊重

といった思いが込められています。

そうした中から、80作品を紹介させていただきます。

人を思いやる心や人と人とのつながりを感じていただき、県民一人ひとりが共にいっしょに力をはげしく機会となれば幸いです。

# 【おへご】

## 【小学生】

うれしかったよ

…  
…  
1

あいさつ

…  
…  
2

げんきでねトカゲさん

…  
…  
3

がんばらなくてもいいんだよ

…  
…  
4

わたしのおばあちゃん

…  
…  
5

ひいばあちゃんにあいにく

…  
…  
6

雨あめのち晴はれ

…  
…  
7

みんなまっています

…  
…  
8

かぞくしゃしん

…  
…  
9

大だいすきな先生せんせい

…  
…  
10

みんなありがとう

…  
…  
11

じ分ぶんのペースでいいよ

…  
…  
12

うれしかったこと

…  
…  
13

わたしのおじいちゃん

…  
…  
14

わたしの、すき

…  
…  
15

暑い日あつひにホカホカあたたか温まるあたたまる気持ちきもち

…  
…  
16

せなかをとんとん

…  
…  
17

あいたいな

…  
…  
18

ぶどうのうえんのおじちゃんおばちゃん

…  
…  
19

わたしのおとうと

…  
…  
20

ブエノスディアス

…  
…  
21

夢ゆめ

…  
…  
22

お父さんおとうさんのたんじょう日ひプレゼント

…  
…  
23

あのひまわり、反はんこう期きみたい

…  
…  
24

笑わらつてくれた弟あにい

…  
25

やさしい心こころ

…  
26

やさしいぼくのお兄にいちゃん

…  
27

へアドネーション

…  
28

ありがとう。おじいちゃん

…  
29

水みづやりの仕事しごと

…  
30

弟あにいよ

…  
31

やさしい弟あにい

…  
32

ちよつといい話はなし

…  
33

安全あんぜんを守まもつてくれる地域ちいきの方かた

…  
34

温あたたかい心こころを僕ぼくにくれてありがとう

…  
35

ねたふりをしてよかった

…  
36

毎日安全に見守ってくれてありがとう

…  
37

友達のやさしさ

…  
38

欠席後の不安から安心へ

…  
39

言葉のないお礼

…  
40

花の水やり

…  
41

アイス

…  
42

リスペクト

…  
43

本物のやさしさ

…  
44

## 【中学生】

メガネ

…  
45

「いつも笑顔だね。」と言われて

…  
46

私の夢

…  
47

「がんばれ」

⋮  
⋮  
48

優しさ

⋮  
⋮  
49

ホットな話

⋮  
⋮  
50

他人事を自分事として

⋮  
⋮  
51

ラインよりもすぐできること

⋮  
⋮  
52

じいちゃんの野菜

⋮  
⋮  
53

笑顔

⋮  
⋮  
54

外国人とおばあちゃん

⋮  
⋮  
55

お母さんのおにぎり

⋮  
⋮  
56

自慢のおじいちゃん

⋮  
⋮  
57

少しでもサポートできるように

⋮  
⋮  
58

本物の行動

⋮  
⋮  
59

笑顔の応援

・  
・  
60

温かい言葉

・  
・  
61

親子二代の偉大さ

・  
・  
62

挨拶活動

・  
・  
63

手紙

・  
・  
64

雨宿りの出会い

・  
・  
65

おとうとのなみだ

・  
・  
66

塾の迎え

・  
・  
67

「君の力になりたいんだよ」

・  
・  
68

君がくれた一言

・  
・  
69

素直なクラス

・  
・  
70

些細な気遣いの大切さ

・  
・  
71



【高校生】

道案内

…  
…  
72

帰り道

…  
…  
73

勇気から生まれた笑顔

…  
…  
74

落とし物

…  
…  
75

強面の高校生

…  
…  
76

【一般】

感謝

…  
…  
77

席、替わります

…  
…  
78

息子の友達

…  
…  
79

心(こころ)の声(こゑ)は届(とど)いてくる

…  
…  
80



# 小学生版

あさねし

ぼくは、あさねしをすめめしにしていきます。それは、おとうさんが、いちにちのはじまりといちにちのおわりにあいさつをすることがたいせつだといったからです。

あさおきて、おはようをいうと、えがおになります。ぼくもおはようをいわれると、ねむくてもきもちがうらやま。

ぼくは、みんなに  
あいさつをしてえが  
おになってもらいた  
いです。



## げんきでねトカゲさん

あるひ、トカゲをつかまえました。

むしかごにいれて、エサにちいさな「オコ  
ギをあげました。でも、トカゲは、エサをた  
べませんでした。おとうちゃん、「何がして  
あげなよ。」「といわれたけれど、ぼくはなが  
したくありませんでした。すると、おとう  
さんが、「じぶんがおりにいれられてたべ  
れない」「はんもらってもいやだよ。」「と  
いいました。ぼくは、かわいそうだとおも  
いトカゲをにがしてあげました。

げんきでねトカゲさん。



# 小学生編

がなばらなへてもころんだや

あへち、は、ぶなをちむじよちかへいじが

あへいじです。けころなちちあへいじごも、

ゆくりじかんをかけないじごきません。

そなごもあへち、ころもなごりあへいじ

ちちあへちあへいじあへち。

「がなばらなへいじごころんだや。」

「あへいじあへちごも。」

じ、えがあへいじあへちあへち。あへいじの

あへちあへちあへち、あへちあへちあへち

になりました。



# 小学生版

わたしのおばあちゃん

わたしのおばあちゃん、あしがわい  
ので、ひよひよはやくあつたり、ながい  
じかんあるいたりするところができません。  
だから、いしもいそいそあつちます。

わたし、おでかけするときは、わた  
しがをつなぐから、いそのかわりをしてあ  
げます。だんがあったり、さかがあったり  
する、「おはよう」「おはよう」といってあげ  
ています。いそいそ、いそいそいそい  
くれるので、いそいそ、いそいそあたたか  
くなります。





## 雨のち晴れ

雨が上がったひる休み、外で元気にあそんでいるHさんたちをじつと見ていました。ぼくは、いれてほしいなと思っていただけになかないえないでこまっているました。

おんぶ、エサをぼくのほしにせこんだ。うんちをまいた。

テレビシーミたいで、びっくりにました。

晴れた空に丸いじつが、かかっています。





# 小学生生活

みんなまっています

ぼくは、たまに学校に行きたくないとき  
があります。学校へ行けばたのしいし、友  
だちも大好きです。でも、なんでかわから  
ないけどいきたくない日がつぜんやっ  
てきます。「ロナのじたくたいきですと  
休みだったときは、このままずっと休みが  
いいなとおもいました。でもおかあさん  
から

「先生からでんわあった  
よ。みんなまっています  
て言っていたよ。」  
と聞きました。はやく学  
校に行きたくなりまし  
た。



# 小学生生活

かぞくしゃしん

ぼくのかぞくは、はるかなるころ、まいとし、かぞくしゃしんをとりいらいく。妹いもうとがうまれて五いにんかぞくにそろったときはじめて入いったかぞくのイベントだ。ことはだれが入学式にゅうがくしきとかはなしながら、さつえいのふくそうとか、しゃしんの主しゅやくとかきめる。かぞくのきぼうがたくさんあって、たくさんしゃべっておいたり、わらったり、このじきはとてもたのしい。らいねんは、どんなかついでとつてもらおうかなあ。



## 大好きな先生

ぼくは、車いすで学校生活をおくっている。だから、友だちや先生と話すときは、かおを上げて話すことが多いし、それがふつうだと思っていた。

けれど、1つこの四月に出会った、たんにんの先生は、ぼくと話すときかならず、ひざをゆかにして同じ目の高さで話してくれる。先生はせが高いいから、立ったり、ぼくのためにすわったり、たいへんだろうな。でも、とてもうれしい。ぼくはそんな先生が大好きだ。



# 小学生

みんなありがとう

ママがコロナになったときに、おばあちゃんがおかずをつくってくれました。それに、おねえちゃんが、ごはんをたいてくれました。おにいちゃんは、ベんきようをおしえてくれました。それに、パパは、しよつきあらいをしてくれました。

みんなといっしょにいるって、しあわせだなと思<sup>おも</sup>いました。これからもみんなとしあわせにくださいです。



# 小学生

自分のペースでいよう

二年生は、今年中にせうとて手をひいて  
ごうごうと車のぬいぐるみをめあてして  
います。

それができぬゆいになつたためには、ちゆ  
うのりができないといひけません。でも、わ  
たしはできません。わたしは休み時間  
ひいひい一人でれんしゆうをしていました。それを  
見ていたNさんが、

「自分のペースでいよう。」

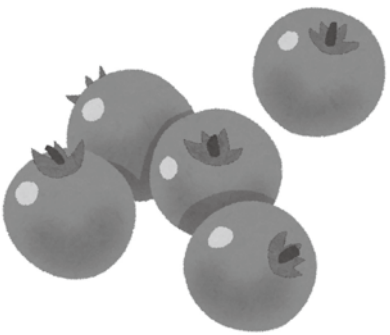
と言つてくれました。あんしんしました。  
うれしかったです。



# 小学生会

うれしかったこと

わたしは、5月のおわりからびよっ気になつてにゅいんしていきます。今もちりょう中です。びよっ気は、けんさやいたいことがたくさんあります。友だちに会えないのもさみしいです。だけど、クラスの子から手がみがとどいて「早くなおるといいね。」と書いてあつて、ころがあたたかくなりました。学校でそだてていたミニトマトが、かれずに赤いみをつけたのは友だちが水をあげてくれたからだと先生から聞きました。とてもうれしかったです。



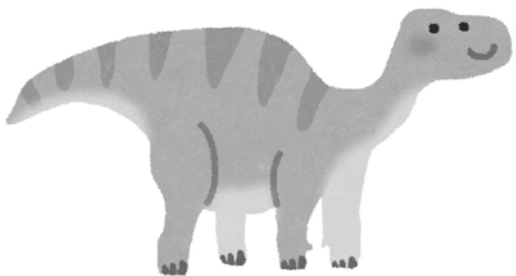
わたしのおじいちゃん

わたしが、おひるねしておきた時、もう  
ふがかかっています。おねえちゃんが、  
「おじいちゃんがもうふをかけていたよ。」  
と言っていてくれました。わたしは、おじい  
ちゃんがもうふをかけてくねてやみこい  
じうれしい気持ちになりました。  
わたしも、おねえちゃんが、ねている時  
にもうふをかけてあげたいです。  
わたしは、やみこいおじいちゃんが、  
とっても大好きです。



わたしの、すけ

わたしは、きょうりゅうが大好き。いつもきょうりゅうの友達ともだち、ブルーといっしょ。でも、あるときおばあさんが、「女の子おんなこがきょうりゅうかね。」といってきた。わたしは、「ママに」「入いんなの？」とききまもした。すると、ママは、「ぜんぜん入いんじやないよ。ママは、さちちゃんとブルーが大好き。男おとこ、女おんななんてかんけいない。自分じぶんのすきを大切にたいせつして。」といっくました。やっぱり、はずかしがることなんてないよね。わたしは、きょうりゅうが大好き。





暑い日にホカホカ温まる気持ち

とても暑い日に、涼しい車の中で、ホカホカと心が温かくなる事がありました。違う小学校の大きなお兄さんが、帰り道すく暑かったので日傘を一人でさしていました。信号待ちで立ち止まっていたら、低学年の女の子が歩いてきて、そっと日傘に入れてあげていました。自分だけが良ければいいのではなく、まわりの人達に目を向けて、自分出来る事を自分なりにやる事で、こんなにホカホカとした気持ちになれる人がいると実感しました。



# 小学生命

おなかをとると

おかあさんが、かぜをひらしてしまっ  
た。はくは、とてもえんじがしたのじ、は  
なかを「アーン」と手でこました。そし  
たら

「あたたかの手であぶりがいい。」  
と言っへたのだ。はくは「アーン」  
と「アーン」とこました。おのの口、お  
あやさんが、「だごちひだだちちあや  
の手は「はくのすじだしたよ。」  
といわれてうれしかったぞ。また「ア  
ン」



# 小学生命

あいたいな

わたしには、しせつに入いっているおじいちゃんがあります。「コロナのせいだなかなかえなくて、遠いくまでおむしをどけているお母さんかあに、ふしぎなので聞きいてみました。

「じいちゃん会あうところへGo!」  
そしたらお母かあれとね、

「おむしをほじくならから。」

と言いいました。年としをとるとわすれてしまうと思おもったら、わたしもおじいちゃんに会あいたくなかったので、早はやく早く  
「コロナがなくなつて  
ほじくです。」



# 小学生会

ぶどうの木のにおいちゃんおばちゃん

いつもあいらしいところねるおじちゃんとおばちゃんが、今日も「お帰り。」と言ってくれました。お家につくとカギがしまつて入れずこまっています。おじちゃんおばちゃんは、「お母さんの帰りをいついかにまとうね。」と言ってくれました。おじちゃんたちがそだてているぶどうの木の下で、三人ですわって楽しくお話しをしました。お母さんの帰りを楽しくまてたのは、おじちゃんたちが声をかけてくれたからです。ありがとう。



# 小学生会

わたしのおじい

わたしは、おじいさんのめんどうを見<sup>み</sup>てい  
ます。おじいさんは、きかん車<sup>くるま</sup>がすきで、わた  
しのまねをよくします。おじいさんは、どう  
ろに一人<sup>ひとり</sup>で行<sup>い</sup>ったり、じゅう中の<sup>うち</sup>ばじょ  
行<sup>い</sup>ったりして、ほかのいえの石<sup>いし</sup>をもちか  
えります。

人の<sup>ひと</sup>めいわくになるし、あぶないし、け  
がをする<sup>を</sup>ことがあるから、わたしは、手<sup>て</sup>を  
広<sup>ひろ</sup>げてとめています。

でも、おじいさんがいろんなことをおぼえ  
たり、できたらしすの<sup>の</sup>せいで、  
うれい<sup>い</sup>です。



# 小学生命

## ブエノスディアス

今年の4月に、ぼくの登校班に外国人の一年生Tさんがやってきた。ポルトガル語とスペイン語しか話せないなので日本語がううじない。班のみんなで考えて、ぼくたちがスペイン語をおぼえて話しかけるとにした。「ブエノスディアス」日本語では「ニロツ」とわらってくれた。夏休みの少し前に、Tさんはきゆううじひつじだ。

日本語で「おはよう」が  
いえるようになった  
のじ。



## 夢

ぼくのお姉ちゃんはおかみなりがきらいです。いつもかみなりが鳴ると、大きな音にこわがっています。ぼくも苦手です。

ある夜、ぼくは急に目がさめました。それはかみなりが鳴ったからです。ぼくは、お姉ちゃんがこわがると思って、とっさにゲーム用のイヤフォンをつけてあげました。でも、かみなりは鳴っていなくて、ぼくの夢でした。

それをお姉ちゃんに話したら、笑わずによろこんでくれてうれしかったです。



# 小学生篇

お父さんのたんじょう日プレゼント

お父さんの誕生日に、わたしは、おじい  
かいでプレゼントを買おうと思って、「何  
を買ったらいい？」と母にたずねました。  
母は、「お父さんはお金もってなくても  
買えるから、お金でかえない物をあげた  
ら？」と言われたので、お金で買えない  
物ってなんだろうと考えていたら、金メダ  
ルがうかんだので「金メダル」を作って、お  
父さんにあげたら、よろこんでくれまし  
た。金メダルを作ってあげて、本当によ  
かったなと思いました。





あのひまわり、反(はん)りう期(き)みたい

「あのひまわり、反(はん)りう期(き)みたい。」と雨(あめ)の日(ひ)にひまわり畑(はたけ)を見て、兄(あに)が言った。たしかに、どの花(はな)もいろいろな方(ほう)向(きょう)を向(む)いて下(した)を向(む)いていた。兄(あに)は中(ちゅう)学(がく)生(せい)になつて、なにかいつもプンプンしている。ひまわりは兄(あに)みたいだった。ひさしぶりに家(か)族(ぞく)ででかけた車(くるま)の中(なか)で、兄(あに)の一(いっ)言(ごん)でみんなどつと大(おほ)わらいした。みんなの心(こころ)にポツと明(あ)かりがついた。わたしは兄(あに)のわらった顔(かお)がみれてうれしかった。やつぱり家(か)族(ぞく)つていいなと思(おも)った。



# 小学生篇

笑ってくれた弟

弟が生まれて、私が弟に会いに行きました。お母さんが「だっこしてみよっ。」と言ったので、だっこをしようとしたら、弟が私のことを見つ「ニコッ」と笑ってくれて、その日にたくわん弟のことが好きになりました。毎日びょういんに行くときにとっても楽しみで、お父さんにずっと車の中でもたらお父さんを車において、走って弟のもとへ行って、おもいっきりだっこをしました。



やせつごころ

一せい下校の日、雨がふっていました。

わたしは、おりたたみがさを持っていました。妹も、持っていました。妹の友達はおりたたみがさを持っていませんでした。妹は、何も言わず、自分のかさに入れてあげました。小さいかさに、二人は入れず妹は、かたをぬらしていました。そのまま友達ちの家までおくつて帰ってきました。びしょぬれだったけど、人のために動けた妹は、「やさしいな」と心があったかくなりました。



やわしつぼくのお兄ちゃん

ぼくには、中学生になるお兄ちゃんがいます。お兄ちゃんは、毎日自転車で学校に通っています。

この前、朝学校へ行く時にお兄ちゃんが自転車のベルをすずめに鳴らしていました。どうして鳴らしたのか聞いてみました。すると、「そこをどうしてね。」という意味で鳴らしたらどうです。

小さな生き物にやさしいお兄ちゃんが、ぼくは大好きです。



## ヘアドネーション

「ヘアドネーション」という言葉は幼稚園の年長の頃にニュースで見た。そのニュースをきっかけに、ヘアドネーションを始め五十センチほどかみが伸びた。

八月十五日、ついにかみを切る日が来た。美容院に行くといすに座り、かみを結んでハサミを持った美容師さんが来た。手際よくかみを結んだ箇所をプツリ、プツリと切った。

かみを切った自分を見るとおどろきはなく、「役に立てた！」という気持ちがいまこみ上げてきた。



# 小学生篇

あじがとう。おじいちゃん

私のおじいちゃんは、私の住んでいる地区の区長さんをしています。いつも、私たちが安全に登校出来るように、大きな道路にある横断歩道に立って見守ってくれています。おじいちゃんはいつも「こつてらっしゃい、がんばっていきいよ。」と声をかけてくれます。私たち小学生も、「ありがとうじいちゃん。」「とうかえします。おじいちゃんいつもありがとう。次のけい老の日は、きちんとお礼を言いたいです。」



## 水やりの仕事

わたしは、園芸委員会にはいつている。

そして、6月ごろに花を植えた。それから一週間に一回ある水やりをがんばった。ある日いつものように水やりをしたら、男の子に、

「お姉ちゃん、花きれいだね。」

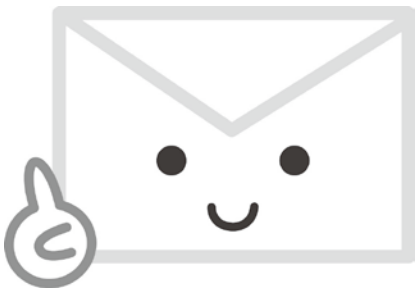
といわれた。「はっ」とした。水やりをつづけたら、みんながうれしいのかなど、今まで水やりをがんばった自分をほめたくなった。

これからも、水やりなどの仕事をがんばってやり続けて、きれいな学校をつくりたい。



## 弟よ

私には、今年入学した弟がいます。少  
 フワフワしていて、心配です。私は今、企画  
 委員を務めています。その取り組みで「学  
 校内郵便」を行なっています。全校の良い  
 事見つけです。しかし、入学したばかりの  
 一年生は中々書いてくれません。そんな事  
 を家で話していると、翌日一年生から初め  
 てのハガキが届きました。私の弟です。内  
 容は少しズレていたけれど、弟なりに私が  
 企画委員だから書いて  
 くれたのだろうか？あ  
 りがとつ弟よ。





## やわつこ弟

おはあちゃんに聞いた弟の話です。

弟は、毎日、自転車でも園に行きます。

ある朝、弟は、公園の道で、のっていた自転車からおりました。そして、自転車をひっぱって、歩いて行きました。なぜかというと、道にダンゴムシがいたのです。弟は、ダンゴムシを、ぶまないように、自転車を止めたのです。そして、回り道をして行ったのです。

小さな命が助かったなって、思いました。



## ちよつとこい話

ぼくの住む町は、優しい人が多い町です。

ぼくは、よく犬の散歩に行きます。犬の散歩をしている時に車が横を通ると、その車はこっちを見てゆつくり通ってくれます。道路をわたる時に車が通りすぎるのを待っていると、その車は止まって、笑顔で「じいぞう」とジェスチャーしてくれます。

ぼくの住む町は、犬にも優しい人がたくさんいるちよつとこい町です。

ぼくも、そんな大人になりたいです。



安全を守ってくれる地域の方

わたしの班が登校する時、地域の方が学校まで安全に登校できるようにしています。横断歩道をわたる時は、旗を上げて、車が来ないようにしてください。夏の暑い日も、雨が多くふる日も、冬の寒い日も毎日見守ってくれているので、けがや事故がなく安全に登校できるのはその方のおかげです。わたしも大人になったら、その方のように小さい子どもやご年配の方々の安全を守るような活動をしたと思います。

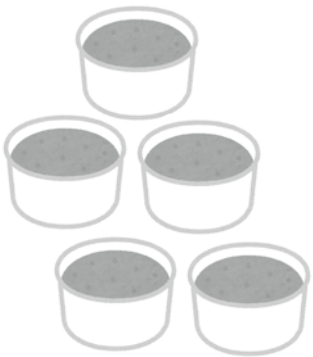


温かい心を僕にくれてありがとう

「この子、先にやってあげて下さい。手が冷たそうなので。」

僕がコンビニでアイスクリームを五個、手で抱え持ってレジで並んでいたら、前のお姉さんがレジの人にそう言ってくれた。

この日の天気は、僕の心と同じで雨だった。気分転換をするために、アイスクリームを買いに行ったけれど、その優しい一言のおかげで、僕の心は、雨上がりの空の様に、すっきりとしたきれいな青空になった。



ねたふりをしてよかった

わたしは、家族と車で出かけているときに、ひまだったのでねようと思いました。でも意外とねられなくて、ねたふりをしていたのですが、家族は、私がねたと思っていました。そして、家族が、私のことを気にかけて、「首、いたくないかな?」「まくらとがいるかな?」と、私の心配をしてくれていました。私はとてもうれしくなりながら、そのままねたふりを続けてました。そして、ねたふりをしていて、よかったです。おもしろかったです。



毎日安全に見守ってあげてあげよう

私のおじいちゃんは、地域見守り隊で  
 す。暑い日でも寒い日でも毎朝きてくれま  
 す。朝、私だけではなく、はんのみんなに元  
 気よく「おはよう。」と毎日言うてくれま  
 す。それだけではなく、おうだん歩道をわ  
 たるときに、「右、左を見てね。」と言ってく  
 れます。だから私たちは、毎日安全に登校  
 ができます。私はそんなおじいちゃんを見  
 て、とてもうれしくなります。これからも  
 安全に見守ってほしいです。



## 友達のやそつね

わたし たがひ調をくずして、一週間学校に行け  
 なかった時がありました。その時、友達が  
 一週間分のノートを持ってきてくれまし  
 た。しかもそのノートは、自分のノートを  
 コピーしたものではなく、分かりやすく書  
 いてくれて、さらに教科書をコピーしたも  
 のがはってありました。とてもうれしかっ  
 たです。おかげで授業におくねることがあ  
 りませんでした。ありがとう。



## 欠席後の不安から安心へ

私が5年生の時に、4日間熱で欠席をした日がありました。月曜日～木曜日の間休んで、金曜日の時に、自分は「少し怖いな」と不安をかかえていました。金曜日の朝、LINEが入って、LINEを見たら、Kさんが「楽しみにしてるよ。」「みんな待ってるよ。」と私を安心させてくれる言葉を優しく声をかけてくれました。その時、とてもホッとしました。Kさんのおかげで、不安から安心へかえることができました。ありがとうございます。





## 言葉のないお礼

お母さんとモノレールに乗りました。席  
 がいっぱいだったのでドアの横の広いス  
 ペースに立ちました。よく見るとベビー  
 カーに乗った赤ちゃんとお母さんが居ま  
 した。私達の居る広い所の方がベビーカー  
 を置きやすいと思いましたが、声をかける  
 のがはずかしくなり、私はお母さんの手  
 取って座席の前のせまい所へ移動しまし  
 た。すると、ベビーカーをひいたお母さん  
 が軽く頭を下げてお礼をしてくれました。  
 私はとても心が温かくなりました。



## 花の水やり

私は、母と当番でまわってくる花の水やりに朝ついていきました。そこには、色々な花があつてちゃんと水やりがされてい  
ると思ひました。

自分も、家の庭だけではなく、みんなに  
みてもらつて心をあたたくしたいので、  
手伝いました。たつぷり水をあげたので元  
気だといひな。

そして、数日後、通  
りかかったときれい  
にさいていたので、  
次あげた人もうれし  
かったのではないか  
と思つたので、「やつ  
た。」と思ひました。



## アイス

私わたしと兄あには、よくケンカをします。でも、兄あになりのやわこわがあつて、すこしだけすなおになれないだけなのです。この前まえは、とっても暑あつい日ひでした。家いえにあるアイスが、一ひとつしかありませんでした。その日ひは、帰かえりがおそく、「もう食たべられてるだろうな」と思おもっていました。残のこっていました。それは兄あにが一いっつししょによに分わけるために残のこしていたのです。「今日けふは暑あついから」といって、アイスを「パキッ」と割わってわたししてくれました。



## リスペクト

最近、ぼくの家は、お父さんの仕事がとてもいそがしく、お母さんがとても大変です。

そこで、大変そうなお母さんを見たお父さんが、「やってもらうことは当たり前じゃないよ、感謝とリスペクトが大事。」と言いました。その翌日、さっそく実践するとお母さんの負担が減った感じがしました。

その言葉をキーワードに、これからもいろいろな人と接していきたいと思いました。



## 本物のやちわか

私は、いつも「テストに向けて勉強を人生で一番と言える程がんばっています。ですが、出場者が多く校内二位だった私のグループは出れなくなってしまいました。私は、家で落ちこみながら母に話しました。兄に言いつと馬鹿にされると思って、話しませんでした。その後、私の部屋にもどり机を見ると兄の初めて見るきれいな字で「よくできました。」と言いつ文字と百点満点のイラストの書かれた紙がありました。本物のやちわかを感じました。



## メガネ

私のメガネは、2万円ぐらい。父のメガネは、百円のメガネ。見た目は似ているけど、値段はまったく違う。「なんでなの?」と父に聞いてみると、「目が悪かったら授業とかよく分かんないだろ。」「と言った。私がつなずくと、次に父は、「俺のメガネは安物でもいいけれど、お前には、値段が高くても、しっかり見える物をつけて、勉強とか色んな事をがん張って欲しいんだよ。」「と言って、少しうれしくなりました。



# 中学生

「いつも笑顔だね。」と言われて

私は「いつも笑顔だね。」と言われたことがあります。その時に思ったことは、自分が笑顔になるだけで、人の心を動かすことができるんだと思いました。私が思う「笑顔」は、みんなの心を動かすことができる大切な力だと思います。悲しい時も苦しい時も笑顔があるだけで、自分に寄りそってくれる気がします。私は、その笑顔をみんなに届けていると思うと、とてもうれしい気持ちになりました。そして、生きる大切さを知ることができました。



# 中学生

## 私の夢

私は一時期なやんでいたことがありま  
した。

それは将来についてです。私はイラスト  
レーターになりたいのですが、お金はかせ  
げそうに思えないし、正直どうかなと思っ  
ていました。ある時、私は母親に相談して  
みることにしました。母親は、「したこと  
をすればいい。私たちは応援するよめよ。」と  
言ってくれて、自分の夢を否定せずに、「応  
えんする。「とまで言ってくれて、うれし  
かったし、なんだか自分  
の夢に自信が持てまし  
た。





# 中学生

「がんばれ」

小学五年生のとき、私の部屋ができた。そのときは自分の部屋がほしかったから、できたときはとてもうれしかった。部屋では、宿題をしたらりりっ過っしていた。ある日、宿題がまったく進まなくて集中ができない日があった。その時、メモ帳に落書きをした。後日、お母さんが私の部屋でオンラインで会議をするようになった。その時にお母さんが落書きしたメモに「がんばれ」と書いてくれた。そのメモを見る度に「がんばっし」と思える。



# 中学生

優つね

私と私の家族は全員、コロナウイルスにかかってしまい、自粛期間で外出できなくなって、買い物すらしてはならない状況になりました。でも、私の友達とそのお母さんが、わざわざドーナツを玄関においてくれました。

本当に助かったし、私がドーナツを好きという事も話していたので、その事を思い出して買ってくれたのかと思うと、本当に優しいなと思いました。いつか恩返ししたいです。



## ホッとな話

僕のお父さんの話です。お父さんの働いているお店に一人のおばあさんが、草刈り機を買いにきたそうです。おばあさんの旦那さんが亡くなり、代わりに草刈りをしないではいけなくなりましたそうです。話を聞いたお父さんは、草刈り機を売りませんでした。「この店はお客に商品を売らんのかー」と言われましたが、お父さんが草刈りをした事のないおばあさんの身体を気づかい、周りの人に助けてもらおうとすすめるので、「ええ店や。」と言ったそうです。



# 中学生

## 他人事を自分事として

学校のある授業の時間、各自数人でペアを作り、交流する機会がありました。でも、その時1人だけペアを作れずにいる外国人の女子生徒がいました。その時、私は自分はまだ決まっているのだし、関係ないと思い込んでいました。しかし、ペアを作り終えているある男子生徒が「一緒にやろう。」と誘っていました。私は、その場において、ただ見ていただけなのに、対し、男女の壁なども気にしないで、他人事を自分の事として捉える姿を見て感動しました。



# 中学生

ラインよりもすてきな1人

友達と遊びました。いつもは、ラインで話すけれど、実際に会って話すのは、とても楽しかったです。ラインでは、スタンプや絵文字しか使わないし、本当の気持ちがいまわりません。でも、実際に顔を見て表情を見ると、安心します。ラインで、「笑」で笑うよりも、実際に隣で一緒に笑う方が、楽しいです。それにラインの「ありがとう!!」「よし本当に」ありがとう」と言われる方が、やっぱり嬉しいです。



## じいちゃん野菜

僕の母の実家は、野菜を育てています。

そして、たまに育てた野菜を僕の家に届け  
てくれます。

ある日、僕がじいちゃんの家に行ったら  
き、暑い中、汗水たらして野菜を作ってい  
るじいちゃんの姿が目に映りました。ばあ  
ちゃんの話によると、「sはこの野菜が好  
きだから。」と言って一生懸命育てくれ  
ているらしいです。じいちゃんはいつも静  
かだけど、心の中ではつながっているんだ  
と、強く感じました。



## 笑顔

私のチャームポイントは笑顔。昔から笑うことが大好きで、人を笑顔にすることが大好きだった。私が笑顔でいるのは、曾祖父ちゃんとの約束が今でも頭にすくく残っているから。「笑顔と笑顔は繋がっているんだよ。あなたのその笑顔で沢山の人を笑顔にしてあげるんだよ。約束してくるかい？」私が笑顔でいる理由。大好きだった今は亡き曾祖父ちゃんとの一生の約束。いつまでも絶対に忘れない。



# 中学生

外国人とおばあちゃん

僕の家の周りには、外国人の人が住んでい  
る。そして、お年寄りもたくさん住んで  
いる。

ある冬の寒い日、僕の家となりに住む  
おばあちゃんが、畑仕事に行こうと歩いて  
いた。そのとき、軍手を落としてしまった。  
僕は渡そうと、軍手を拾おうとした。その  
時、近くにいた外国人の人がすぐに拾っ  
て、おばあちゃんに届けていた。その時、僕  
は優しいとは、話す言葉が違って、伝わ  
るものなんだと思ひ、  
ほっこりした。





# 中学生

## お母さんのおじぎ

陸上の大会がある日の朝ご飯は、いつもお母さんが作ってくれたおじぎりを食べます。このおじぎりは「コンビニ」の物と比べると大きくて「ゴシゴシ」しています。けれども食べる時「頑張るぞ」と元気がわいてきます。私は、このおじぎりにお母さんの応援する気持ちが入められているからだと気づきました。直接言葉で言われたわけではないけれど、お母さんの応援する気持ちが伝わってくるおじぎりに心が温かくなりました。



# 中学生

自慢のおじいちゃん

私のおじいちゃんは、いつも私に「おじいちゃんのお話を聞かせてね。」と言ってくれます。まだ、私が小学生の頃、雨が降ると、通学路に水が溜まらないように、落ち葉を掃除してくれました。中学生になると、草がたぐさん生えている通学路に許可を取り、除草剤をまいてくれます。ここまでしてくれているおじいちゃんに私は何もできません。そこで卒業式に花束と手紙を渡そうと思っています。おじいちゃん、いつもありがとう。



少しでもサポートできるよって

友達とコンビニに行った時の話です。

友達が、会計をしている時、おつりがで  
ました。そのおつりを財布の中に入れてと  
思ったら、レジの横にある募金箱にそのお  
つりを入れたのです。友達にどうして募金  
箱にお金を入れたのと聞くと、「災害で  
困っていた人がたくさんいて、自分のお金  
が少しでも役に立てたらいいなと思っ  
て。」と言っていました。

それを聞いて私は、小さなことでも困っ  
ている人の支えになるのはすごいと思  
いました。



## 本物の行動

ある日、車道に赤いコーンが倒れて邪魔になっていた。僕はその時、母の車の中にいた。邪魔だし、危ないなと思っていたら、自転車に乗った中学生が、サッと降りてコーンを移動させていた。その中学生にとっては、何気ないことだったのかもしれない。でも、道路の状況を瞬時に判断し、とつむにとつた行動はすばらしいと思う。誰も見ていない所でも自然にできる行動、これこそが本物の力だ。自分も見習って、本物の行動をしたい。



## 笑顔の応援

「ねえね、頑張つて。」その弟の笑顔の応援は私を元気づけてくれました。

私は中学二年生で、受験生です。ある日、テストの点数が悪く落ち込んでいると弟が、「ねえねが一生懸命、勉強していたの僕、知っているよ。次は絶対大丈夫。ねえね、頑張つて。」

その温かい応援のおかげで私は『よし。頑張ろう』と思える事が出来ました。家族の支えは励ましに繋がると感じた瞬間でした。



## 温かい言葉

私のクラスは、日常から温かい言葉が飛び交う。全力で取り組んでいる人には「頑張って。」助けてくれた人には「ありがとう。」と。これらの言葉は日常の一片に過ぎないけれど、私の心を照らしてくれる。仲間からの言葉を聞くたび、たくさん思いやりの気持ちが感じられるのだ。私も仲間のように思いやりのある、温かい言葉を使える人でありたい。そして、この仲間たちと過ごす時間を大切にしていきたい。



## 親子二代の偉大さ

うちの三兄弟は小さい頃は体が弱く、怪我をすることが多かった。けれど、数多くの危ない場面があったにも関わらず、私達は今とても元気で健康だ。体の丈夫さを父に話すと、「おじいちゃんにお祈りしとるでや。」と言われた。私たちが無事に一日を終えられるよう、毎朝お祈りをしているそ  
うだ。

毎日、私たちが元気である事を祈ってくれる父と、ずっと守り続けてくれるおじいちゃんにんだか心がポカポカした。



## 挨拶活動

「明日ちよつと早く出よ。」三人のラインではそんなやり取りがなされた。友達が生活委員だったこともあり、今までボランティアとして挨拶活動に参加している。初めて挨拶活動に参加した頃は、正直面倒臭いという気持ちがあった。しかし、自主的に参加していくことで、一日を軽快にスタートさせていける挨拶活動になっていると気付いた。ボランティアに誘ってくれるような友達と参加することができて幸せだと感じる。





## 手紙

私は昔、不登校気味で、教室に行くのが怖かった。クラスの仲間が声をかけてくれないことも返事をしないことが多かった。私は申し訳なく感じて、みんなに向けて謝罪と感謝の手紙を書き、それを先生に読んでもらった。その翌日、私の元に数枚のプリントが届いた。それは私の手紙に対する返事だった。あたたかい言葉がたくさん書いてあって、涙が止まらなかった。私が、今学校に通えているのはその手紙のおかげだ。今も大事にしまっている。



## 雨宿りの出会い

僕が自転車に乗ってた時、急な大雨で道の駅に雨宿りしていました。自分は雨でぬれてしまっていて、急だったのでタオルがありませんでした。ぬれたまま雨宿りしていた時、とあるおじさんが、タオルを僕にわたしてくれました。そして「風邪をひくからふきなさい。」と優しく声をかけてくれました。体をふけてスッキリして僕がお礼を言ったら、おじさんは「自転車、気を付けて乗ってね。」と言ってくれました。本当にあのおじさんは、感謝しています。



## おとしとのなみだ

GWに一人暮らしをしている兄が帰ってきました。弟には何も言わずに駅のホームで兄を待っていました。すると、電車が来て、人混みの中から兄の姿が見えました。そのとたん、弟は目に涙を浮かべるところへ走っていきました。兄に久しぶりにだっこしてもらった弟は涙が止まらず、ずっと泣いていました。私はこれを見て、5歳の小さい弟は、大人よりも家族に気持ちを伝えられる力をもっているなと思いました。



## 塾の迎え

お母さんはいつも私が塾が終わって外に出たら必ず同じ所に車が停めてあります。時間に遅れてくることは一度もありません。

「いつも、何分前にいるの?」と聞いてみると、「塾が終わる十分前にいるよ。」「と答え、驚きました。どうしてそんなに早く来るか聞いてみると、「少しでも近い所にとめて、歩くのや探すのを少なくさせるため。」「と言っていました。そのくらいのことだと思いますが、私のためと思ひます。」「心が温まりました。



「君の力になりたいんだよ」

私がクラスメイトから言われた小さな言葉に傷つき、落ち込んでいたとき、すくなく仲が良いわけでもない友達が、私の元気がないことに気づいた。その日の帰り道、私のほうが早く学校を出たのに、その友達はずわらず走って私に追いつき、話を聞いてくれた。優しくなぐさめてもらって元気が出た。そして、「そのままの君が大好き！」と言われ、うれしさのあまり泣き崩れてしまった。ありがとう。私もとても優しい君が大好きだよ。



## 君がくれた一言

「Mちゃんが決めたなら私は応援する。」  
 私が係決めで迷っているときに友達がか  
 けてくれた言葉です。なかなか決断できず  
 に困っていることを相談したときにこの  
 言葉をかけてくれました。私で大丈夫か  
 な、そんなことを考えているときにくれた  
 この一言のおかげで、私のことを大切に  
 思ってくれている子もいると気づけとて  
 も温かい気持ちになりました。次は、私が  
 友達を助けたいです。



## 素直なクラス

私のクラスでは、配り物をされると「ありがとう。」「そんな言葉を誰もか口にしません。」「ありがとう」という言葉は唯一偽ることのできない真つすべな言葉だと思えます。そんな「ありがとう」が行き交うクラスのことはとても居心地のいい素直なクラスです。「ありがとう」を積極的に使ったり、「ありがとう」以外の言葉でもこのクラスに感謝を伝えたいです。



## 些細な気遣いの大切さ

私がテストで悪い点数を取ってしまった

て落ち込んでいたとき、私の母親が

「落ち込むことは必要。人はいつか挫折す

るものだから。そこからどう努力していく

かが一番大切なんだよ。」

と言ってくれた。そして、夕食に私の好き

なハンバーグを出してくれた。その母の励

ましや気遣いは私の気持ちを軽く、明るく

してくれた。そんな母がくれた言葉を心に

刻んで、よりいっそう努力していきたい。





## 道案内

わたしちゅうがくせい  
 私が中学生の時、友達と家の前で遊んで  
 いると、周囲を見わたしながら何かを探し  
 ているおばあさんが歩いてきた。「どうか  
 されましたか？」と尋ねると、その人は知  
 人の家を探しているようだった。私はその  
 知人の名字を聞き、祖母に心あたりがない  
 かと聞くと、自分が分かる場所だったた  
 め、その人の家まで案内した。人を助ける  
 ことの心地よさを実感できた出来事だっ  
 た。



## 帰り道

私が中学生の時、帰り道に車イスに乗っている男性を見かけました。その人は、何分たっても動かなかったので心配になり声をかけると、「ちよっとの段差がキツくてね。」と言いました。私は、小学校の頃から車イスの友達がいて少しなら扱い方がわかるので段差を登るのを手伝いました。すると男性は、家の中から奥さんを呼んで来て二人で「ありがとう。」と言ってくれました。私は手伝って良かったと思いい、心が温かくなりました。



## 勇氣から生まれた笑顔

私が電車の座席に座っていた時、つえをついた高齢の方が乗車してきた。その時、電車は満員で高齢の方が座る優先席も若い男の人達でうまってしまっていてとても困っていた。自分は声をかけるのにすく勇氣が必要で迷ったけれど「よかったらどうぞ。」と声をかけてみた。すると、暗かった顔がとても笑顔になって「ありがとう。」と言ってもらえた。自分の少しの勇氣で笑顔が増えて、とても嬉しかった。改めて笑顔の大切さを知った。



## 落とし物

友達と遊んだ後、僕は用事があったから、早めに仲間達と別れました。帰り道、僕はタオルを落としたことに気付かず家に着くと、友達から写真とメッセージがきていました。僕が落としたタオルの写真と、「洗って返すわ。」と一言のメッセージ。恐らく友達が帰っているときに見つけてくれたのでしよう。洗ってくれる事に少し申し訳なさを感じながら、「あじがどう。」と返信しました。



## 強面の高校生

わたしは、部活終わり期間限定の飲み物目当てに  
コーヒー店へ友人と寄った。

店内でゆっくりしたかったが休日だったため仕方なく外で楽しむことにした。談笑していたところ、赤ちゃんを連れた家族連れが店を出ようとしていた。しかし、ベビーカーを押していたため扉を開けることができなかった。店外の扉近くにいた私は、扉を開け、道をつくった。ベビーカーを押していた親御さんに感謝してもらいホッとして中の赤ちゃんに手を振ってあげた。

しかし、赤ちゃんは私の顔を見るなり大号泣。私は、強面を自覚していたものの、まさか泣かれると思っていたいなくて悲しかったが、赤ちゃんの親御さんや友人が笑ってくれたおかげで強面も笑顔に変わった休日になった。



感謝

福祉施設で働いていた時の出来事です。  
 福祉施設のスタッフが足らず、皆が忙しく  
 働いていた時に、私の妊娠が分かりまし  
 た。仕事を続けるか悩んでいた時に上司に  
 相談したところ、「支援員の変わりはい  
 が、お腹の赤ちゃんの母親はあなたしか  
 ないのよ。」と背中を押してくれたおかげ  
 で安心して退職し、子育てを楽しむことが  
 できました。あの時、子育ての道を選ばせ  
 てくださいました上司に感謝しています。



席、替わります

飲食店へ一人で食事に入ると、六人は座れる大きなテーブルへ案内されました。私の後に入って来たお客様は小さなお子様を連れており、カウンターしか空いておらず待つ事。

私は店員に「私がカウンターへ移るの  
で、あの方々をこちらのテーブルへ案内  
してあげて下さい。」とお伝えすると、  
大変感謝されました。自分にとっては当  
たり前の事でしたが、このような些細な  
行動でこんなにも喜んで頂けこちらまで  
温かい気持ちになりました。



息子の友達

息子の友達は、年少から五年生の今でも、男女問わず仲が良いです。授業参観に行くと、息子は寄って来てくれないのに、友達はたくさん寄って来てくれます。そんなみんなの事を我が子のように思っています。

息子と友達たちはこの先離れて暮らすこともあるかもしれませんが、一生の友でいてくれると思っています。  
私も、たくさん息子の娘たちのことをこっそり応援し続けます。





心の声は届いている

娘は、学校で声を出して話をすることが  
 できません。頭で考え、いつも心の中で独  
 り言を言っています。そんな娘ですが、仲  
 良しの友達が多いです。友達とは、ジェス  
 チャーや顔の表情で会話しています。ある  
 日、友達の一人に聞いてみました。「うちの  
 娘の話、わかる？」すると、「ジェスチャー  
 で一生懸命伝えてくれるからわかるよ。」  
 と返事が返ってきました。私は、娘の心の  
 声が届いていることを実感した瞬間でし  
 た。



令和4年度 ちよつといひ話

令和4年 12月発行

編集 岐阜県環境生活部 人権施策推進課

〒五〇〇―八五七〇

岐阜県岐阜市藪田南二―一―一

TEL〇五八―二七二―八二五〇（直通）

FAX〇五八―二七八―二六一五



人権ミナモ

## 岐阜県環境生活部 人権施策推進課

※この冊子は、法務省委託事業により作成されています。

